

| | | | |
|--|--|-------|------|
| 区分 | 専門基礎分野 | 単位 | 1単位 |
| 科目名 | 徴候と症状の統合 | 時間数 | 30時間 |
| 講師名 | 非常勤講師、専任教員 | 履修学年 | 2年次 |
| 概要 | 疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状がどのようなメカニズムで発生し、身体にどういった影響を及ぼすのかを理解する。 | | |
| 学習目標 | 1. 共通にみられる病気の特徴として、病理学的変化の炎症・出血・梗塞・腫瘍が理解できる。 2. 関連図を用いて整理することで、疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状について理解できる。 | | |
| 授業内容 | | | |
| 回数 | 学習内容 | 授業形態 | |
| 1 | 授業展開説明、グループワークのための文献・資料の収集 | 講義 | |
| 2 | 肝硬変（炎症）・肝臓癌（腫瘍）の授業 | 講義 | |
| 3 | グループワークのための文献・資料の収集 | 演習 | |
| 4 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 5 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 6 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 7 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 8 | グループワーク発表 | 発表・評価 | |
| 9 | 脳出血（出血）・脳梗塞（梗塞）の授業 | 講義 | |
| 10 | グループワークのための文献・資料の収集 | 演習 | |
| 11 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 12 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 13 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 14 | 各グループの課題に沿ってグループワーク | 演習 | |
| 15 | グループワーク発表 | 発表・評価 | |
| 使用教科書・教材・参考書 | | | |
| 系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 よくわかる専門基礎講座 病理学 金原出版 自分で描ける病態関連図 照林社 新体系看護学全書 成人看護学 消化器 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 成人看護学 脳・神経 メヂカルフレンド社 | | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| グループワーク及び発表 | | | |
| 備考 | | | |
| < 授業内容 > | | | |
| 1) 導入：講義6時間 | | | |

授業展開を進めるにあたり以下の疾患で講義する。

①肝硬変・肝臓癌（炎症・腫瘍）②脳出血・脳梗塞（出血・梗塞）

2) 授業展開：GW演習20時間

- ・炎症・出血・梗塞・腫瘍の病因別のメカニズムを調べる。
- ・疾患部位の機能と構造の特徴から、出現する徴候・症状を調べる。
- ・その疾患特有の徴候・症状の原因、誘因を調べる。
- ・疾患部位の機能と構造の特徴から、進行プロセスで出現する徴候・症状を調べる。
- ・疾患が人体に及ぼす影響や徴候・症状・検査/診断・治療について関連図を作成する。

3) 発表・評価：4時間

注) 徴候：患者の自覚症状でなく他者からとらえられるもの

症状：患者の自覚症状

- ・2・8・9・15回目は非常勤講師、その他専任教員
- ・15回全て各クラスで授業